

多世代交流をテーマとした居場所づくり

学びと遊びのホットスペース「おおなみこなみ」

町を元気に、住む人を元気にするために

「多様な世代が交流し、それぞれが持つ能力を活用し合うことで困難を解決すること」を目的に、2014年9月に千葉市花見川区検見川町にオープンしました。

京成検見川駅前に続く商店街のはずれに「おおなみこなみ」があります。営業を続ける店舗は、かつての半数近くに減ってしまいましたが、地域の人々の暮らしを支える、なくてはならない存在です。新しく移り住んだ人たちと以前から住む人たちとの世代を越えた交流ができれば、古くからある商店街にもっと足を運んでもらえたら、町が元気に、住む人が元気になることができたら、町が元気に、住む人が元気になることができたら、町が元気に、住む人が元気になることができます。

オープンから2年

オープンから2年。シニア世代を対象にした「健康貯筋体操」「アイチ体操」や検見川の歴史を学ぶ「歴史講座」等を継続的に開催、講座受講者間の交流も進んでいます。

講座の企画や運営全般について、「あんしんケアセンター幕張」や検見川商工振興会、社協検見川地区部会、民生委員など多くの皆さんに、協力をいただいています。「こんな人がいるよ」という講師の紹介、「一緒に行ってみない」といった参加呼びかけ…地域に住む人が活動の広がりを作ってくれています。



子育て中のスタッフがコーディネートして、6月から「一緒にヨガを楽しみましょう」「0歳からのおやこ教室@おやかカフェ検見川」といった子育て世代向けの講座が始まりました。講座の日は、乳幼児を連れたママたちで大賑わいです。



思いっきりの夏休み

夏休みの子ども向け企画として、千葉工大鎌田研究室の協力を得て、「千葉工大生と思いっきり遊んで、学ぼう！」を開催。毎回10名～20名の子どもたちと学生たちが楽しい時間を過ごしました。



千葉工大生と思いっきり学ぼう！遊ぼう！

7/24、8/22、24、25 開催

〈プログラム〉

参加費 300円/回

○午前中：個別学習&外遊び

夏休みの宿題や自由研究など、自分が勉強したいと思うこと、教えてもらいたいと思うもの

○お昼ごはん〔メニュー〕

たこ焼き、お好み焼き、チキンライス&野菜スープ
バターロールサンド&野菜スープ、カレーライス

○午後：「思いっきり遊ぼう！」

スライムづくり、ペーパークラフト
フェルト工作、スノードームづくり

子どもたちのメッセージ

- ・外遊び、めっちゃ楽しかった。来年もまた来てね！
- ・ふだんできないことができて楽しかった。

学生のメッセージ

- ・普段は年長の地域の人たちに指導を受けることがほとんど。今回は教える立場になり新鮮でした。
- ・最初はあまり気乗りしませんでした。来てみたらとても楽しい時間が過ごせました。



運営費を確保するために

飲み物（ドリップコーヒー、リンゴジュース、オレンジジュース 200 円）の提供、県内の福祉事業所の物品や NPO 法人日本ファイバーリサイクル連帯協議会（JFSA）のリサイクル衣料品などの販売を行っています。

地域の人たちに福祉事業所や JFSA の事業趣旨を伝えるとともに、販売収入を得ています。また、毎週金曜日には、生活クラブ生協の移動販売車がおおなみこなみに前に停まり、お菓子や生鮮品、野菜などを販売します。



生協の移動販売車

県外 避難者支援ブースを設置

「おおなみこなみ」の場としての機能を高め、運営経費のシェアを目的に、今年度から、「浪江町復興支援員千葉県駐在」と「福島県県外避難者相談拠点」ブースを設置しました。東日本大震災から 5 年を過ぎた今も、約 3300 名の人たちが、原発事故由来で福島県から千葉県に避難し暮らしています。NPO クラブでは震災翌年から、自分の意志にかかわらず家を離れ、千葉県内で暮らす人たちの支援事業を継続してきました。地域の人たちの出入りがある場所にブースを持ち、関心を持ってもらうことが大事だと考えています。

「どうして、ここに福島の新聞があるの?」「浪江町は福島のどのあたり?」と時々たずねられます。一方で、かかってきた電話が子どもたちの遊ぶ声で聞き取れず、奥のスペースに走りこむこともあります。場をシェアすることのプラスとマイナスを実感する日々です。

ボランティアスタッフが運営

昨年度まで、有償ボランティアとして運営を担い、今年度はボランティアで運営を支えるスタッフが 6 名います。それぞれの時間をやりくりしながら、週に 1 回、運営管理を担うスタッフがいて、はじめて事業が継続できています。担い手を増やし、一人ひとりの負担を小さくすることが課題です。

多世代交流施設の意義と難しさ

核家族化が進み、高齢者の暮らしを地域でどう支えるかが話題となることが増えてきました。一人暮らし、二人暮らしの高齢者世帯で介護が必要になった時、家族以外の支え手の有無で暮らし方が大きく違ってきます。「おおなみこなみ」の運営を通して、あいさつを交わす、ちょっとしたお買物を依頼できるような関係づくりができればと願います。

子育て世代はどうでしょうか。子育てに迷った時に相談する人が近くにいない。子ども連れで、気軽におしゃべりを楽しむ場所が少ない。「おおなみこなみ」で出会い、ご近所だったことがわかり連れ立って帰るといふママたちの姿を目にすることもありません。

では、高齢の方と子育て世代が「おおなみこなみ」で行き会ったら…。「ゆっくりコーヒーを楽しみたかったのだけれど、子どもの声がうるさくて」「子どもたちが思いっきり遊べると思ったけれど、ミーティングの邪魔になるようで、遠慮してしまった」

多世代で場をシェアするためには、ルールを作ることが必要ではないかと、スタッフで相談、火曜日は「子育て世代」を、金曜日は高齢者を主な対象にした企画を実施することにしました。

理論上では、たやすくとも具現化するのには難しい!! やってみての繰り返しを続け、歩み続けていければと思います。



多世代交流拠点「おおなみこなみ」

火曜日と金曜日 10:30~17:00 オープン
水曜日と木曜日 13:00~17:00 オープン
土曜日はイベント時間からオープン
(日、月、祝日はお休み)

千葉市花見川区検見川町 3 丁目 159-2
TEL 070-2157-1673

E-mail ohnamikonami2014@gmail.com